

項目	昭和40年(9月末)	昭和45年(9月末)	昭和50年(9月末)
人口	2,842人	2,336人	2,071人
世帯数	2,937人	2,362人	2,147人
人口増減	5,779人	4,698人	4,218人
世帯増減	1,274世帯	1,182世帯	1,099世帯
転入した人		11人	
転出した人		15人	



お知らせ
 人権、法律、相談所の開設
 ○とき 十一月十七日十時から十五時まで
 ○ところ 肱川町公民館

お誕生おめでとう
 小 藪 上田嘉穂さん長男
 上鹿野川 松本憲さん二男
 中居谷 大野公甫さん長女
 順子ちゃん

おくりやみ 申し上げます
 広常 水沼龍右衛門さん(82才)
 小藪 道田弓之助さん(82才)
 久保 安部森榮さん(97才)
 森 兵頭茂市さん(92才)

そろって休日を
 (「大切に」運動十一月の目標)

中居谷縦断紀行

「大切に」運動本部自然観察の記録から



京の森より風ヶ峠(中央) 愛の森(右端)を望む

中居谷のシンボル 京の森

町の各所から、また大川や五十崎からのもので特徴のある京の森が望まれる。中二七〇〇が点在しており、居谷は、その京の森の真下主として下方が耕地、上が山林に四〇度程の傾斜で、すりと竹林である。土壌は肥沃鉢状の半円を描く形となつてに富み、五十崎町に接する

屋根まで杉松などがよく生育している。屋根づたいになだらかな道を分け入ると古い社に着く。裏側は切り立った崖になつており風雪に耐えた木々が岩に這いつくつかっている。この崖の上からの眺めは実にすばらしい。真下に五十崎町へ続く嘉城地区道が伸び、少し離れて瓜哇の二次農構事業地が見え、正山小学校も活気を呈す。

岩谷地区を除けば肱川町の各地区、大川、五十崎、内子が一望され、さながら箱庭のようである。屋根づたいの開発と並行して、よごさないレクリエーションの場所には是非活用したいものである。

早かった 道路整備

中居谷の生活道整備は早くなされ、主なものは昭和四十年までに完成している。部落の人達の努力がうかがえる。道路と言えは前議長の水田さんは、ある挨拶の中で「道路ができて、郵便さんがオートバイで早く来るようになったことが文化ではない。」と言われている。道路ができて便利になったことだけに終らざるが、協力して造り上げた意義、完全な利用、生産のためのより高い活用方策、人と人の交り合い、また共同の維持、改善など、そのあとに連なる課題、我々も考えるべき言葉である。

ふれあいの中心 八幡神社

部落は、日の平、中城、正覚と分けられるが、その中城に突き出している八幡神社(橋城跡)があつて四〇〇年の昔を偲ばせる。参道の松の老木は、マツクイ虫に枯らされ残念であったが大樹にかけられる境内はよく清掃されていた。春秋二回の祭りや草刈りおこもりの行事があつて



こんな大きいゴミが (農道町線で)

議員さん出番です
 神井恵一郎さん

「人間関係が一ばん大切」と語る 神井さん一家

選挙について

常に「きれいな選挙」をモットーにしている。選挙のたびに多くの金が使われているのが残念です。選ばれる者の自覚と選ぶ人の心掛け次第で「きれいな選挙」はできるはず。有権者が自ら選挙のために、候補者の主張が発表できる場と場が必要では……。

花木について

生活の必需品でない花木は価格の安定性がなく、専業は望めない。しかし不況の現在でも公共用地の緑地帯、街路樹に適合する木は需要が多いので林業とタイアップして生産すれば良い。

昔は交通の要所「耳取り峠」

石上峠を東にたどると、昔河辺、五十崎、中居谷を結ぶ交通の要所、耳取り峠へ出る。今は通る人もなく道は草木が生い茂り行く手をはばんだ。「耳取り」の名は、侍が人を斬って耳を並べたとも旅人が吹雪のため寄りかかった松の木に耳が凍りついたとも伝えられている。とにかく昔の人々が悲喜こももある生活のためにこの峠を汗にまみれ、あはれは足を雪にとられながら越えていったのであろう。茶屋の跡は既になかった。

将来性を秘めた 尾根をつた

中居谷部落の総面積は三二五畝で肱川町の五割にあたる。耕地は四五畝で多くない。今後、現在までのような高度の経済成長は望めず条件はさらにきびしいと言え

中居谷の人々はやはり中居谷を基盤として農業経営を考へるべきである。どこかに住みよい土地はないかと迷う時代ではない。京の森から龍王山、石上峠を経て耳取り峠へ連なる屋根は、帯状の平地が続いている。五十崎町にまたがるおよそ二〇畝の土地を現状

収入源となる。

数年前「みづばつじ」を県外に持ち出し、批判の声もあつたが、現金収入の少ない農家にとりその代金が営農資金に充てられたことと花木生産のきつかけになったことがプラスであったと思つている。しかし四国に生息がたいつじであるが、現存は大切であるが、現状では得るところがない。ダム周辺に園地を作

開発の可能性ある尾根

(龍王山より石上峠)

の雑木林または山林としておくより開発の途があるように思える。例えば農地保有合理化促進事業を適用し、少しでも零細農耕克服への契機とするなど。幸い道路整備は県道からの延長で距離、地形共にごく恵まれている。ただ小切の個人所有地が多く関係者の理解ある協力が必要である。

酒は百薬の長というが

適度に飲めば百薬もいれないが、好きな私には百毒の方かも……。でも家では飲みません。私にとつて酒は潤滑油としてまた、人間関係を作るうえで大切な品です。(住所は大和部落、お母さん、奥さん、一男二女の五人家庭。生後七か月余でお父さんを亡くし、お母さんの手で苦勞して育てられた神井さんは、人間関係を一番大切にされている。)

心配ごと相談

(開設日) 十月二十五日
 兵頭、堀尾相談員
 十一月五日
 森本、坂本相談員
 十一月十五日
 福田、都谷相談員
 十一月二十五日
 山中、中野相談員
 十一月二十五日
 時間九時～十六時
 何でもきがるに、ご相談下さい。
 (肱川町社会福祉協議会)

妊婦健康相談

とき、十一月十一日
 ところ、肱川町公民館
 内容、妊産婦の栄養
 午前中、調理実習
 持参品、米、一三〇g
 持参品、米、一三〇g
 玉子、一個

乳児健康相談

とき、十一月二十日
 ところ、肱川町公民館
 (町民課)

広報メモ

○婦人がん集団検診
 とき、十一月四日
 十一月六日
 受付、十一月十四日
 ところ、大谷公民館
 該当者、三十才以上の女性
 は毎年受診しなさい。

○希望者は役場保健係へ申込下さい。

○検査料金、三〇〇円

野犬の退治

(「大切に」運動十一月の目標)

野犬の退治

(「大切に」運動十一月の目標)

